

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

リュウキュウマツのマツカレハ被害が発生中。被害実態調査開始！

7月1日(火)

未だ松くい虫（マツ材線虫病）被害のない八重山地域は、昭和に造林されたマツ林が多く残っている県内でも数少ない地域となっている。

そのような中、石垣島では今年3月頃からマツカレハという毛虫による針葉の食害が例年以上に発生していて、茶褐色化したマツの情報提供が度々寄せられている。

先月あたりから、平得県営林でも例年以上の被害が見られるようになったことから、マツ造林地における被害木のモニタリング調査を行うこととして、7月1日に被害実態調査を実施した。

調査内容は樹木健全度を食害の程度に応じたランク分けと、樹勢の推移とした。

また、松くい虫被害の可能性も捨てることはできないことから、木片サンプルも採取し、検査も依頼することとしている。

県営林では継続して樹勢のモニタリング調査を実施してデータを集め、その他被害地域のマツ林所有者等に対しては、松くい虫被害対策も含めた防除方法等の情報提供や普及活動を行っていききたい。



調査の様子



島内の被害状況

(報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川)